

事業番号	02 05 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	広聴事業費	部局	企画振興部	課・室	広報・共創推進課				
		実施期間	H13 ～	E-mail	koho @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

- ・県が取り組んでいる行財政改革のうち、対話型の行政運営の推進に係る取組が「あまり進んでいない」、「まったく進んでいない」と感じている者の割合は31.6%となっている。（R5.12「県政アンケート調査」から）
- ・人々の価値観が多様化する中、複雑化する課題に的確に対応するため、県民の思いに寄り添い、施策に反映する必要がある。

2 事業目的

広聴事業の充実により、幅広く県民の御意見をお聴きし、県政への県民参加のさらなる推進を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①対話の機会の創出

- ・県政タウンミーティング、県政ティーミーティング、政策対話の開催

②県民意見等の把握

- ・県政の課題に関する県民の意見や意識等を把握するため、民間調査会社への委託によるアンケート調査を実施
- ・行政サービス向上のため、県民ホットラインによる県政に関する意見等の受付

③県政への理解促進を図る取組

- ・県庁見学による小学生等の参加者の県政に対する理解促進
- ・県政出前講座により、職員が県政に関するテーマについて説明・意見交換を実施



県政ティーミーティング

4 成果指標

（推移の凡例 ㇏：改善 ㇏：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	県政タウンミーティング及び県政ティーミーティングの満足度	%	90	99	㇏	100	㇏	90 達成	県民との直接かつ自由闊達な対話を推進し、より充実した場を提供するため、これまでの実績を基に満足度を成果指標に設定

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R7年度	0	13,989	△ 3,066	10,923	10,923	10,199	4.0
R6年度	0	12,458	△ 847	11,611	11,611	10,653	4.0
R5年度	0	16,315	△ 619	15,696	15,696	13,110	5.0

事業番号	02 05 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	広聴事業費	部局	企画振興部	課・室	広報・共創推進課		

7 主な取組実績と成果

①対話の機会の創出

- ・県政タウンミーティングについては、計8回実施。合計590人が参加した。
- ・県政ティーミーティングについては、計2回実施。合計14人が参加した。
- ・政策対話については、計52回実施。合計1300人が参加した。

②県民意見等の把握

- ・県政の課題に関する意見や意識等を把握するため、全4回（6月、8月、11月、1月）、27項目について県政アンケート調査を実施し、各種計画・施策の基礎資料や、成果指標の達成状況把握などに活用することができた。

③県政への理解促進を図る取組

- ・県内の小学校と一般の団体・グループを対象とした、議場や知事室などの施設を見学する県庁見学を実施。県政を身近に感じ理解を深めてもらうことができた。令和7年度には205団体、延べ8,470人が参加。また、令和7年度からは、参加者が自主的にテーマを選び担当課へ取材を行う「こども記者体験」を再開した。
- ・県内の団体・グループを対象とした、県が取り組む施策に関するテーマについて説明する県政出前講座を実施。職員による説明を行うとともに、参加者と意見交換を行うことで、県政への理解を深めてもらうことができた。令和7年度は175回開催、延べ7,472人が参加。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	県政タウンミーティング及び県政ティーミーティングの満足度	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
参加者アンケート結果では、各回において、知事が提案内容に対し共に考え、具体的な対応策を検討する姿勢が評価されており、こうした双方向の対話が、参加者の高い満足度につながったとみられる。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ①今後も「対話と共創」の県政の実現に向け、県民から直接意見を聞く場を定期的に設けていく必要がある。
- ②県政アンケート回答者が適切な回答を行えるような設問を作成する必要がある。
- ③県庁見学について、現在、見学内容は施設見学が中心となっており、参加者が主体性を持って参加できるようなプログラムが不足している。また、こども記者体験については、参加者のニーズを聞きながら実施していく必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ①県政タウンミーティングと県政ティーミーティング等の実施を通じ、活発な対話が行われるようにしたい。
- ②県政アンケート調査の実施に当たっては、業務を委託する民間調査会社にも助言をいただきながら、適切な設問を作成していく。
- ③県庁見学について、主体的な学びを促す教育機会の創出の目的のため、引き続き見学内容を検討するとともに、こども記者体験について、引率する教員等の意見を聞きながら、参加者ニーズに沿ったものとしていきたい。

事業番号	02 05 01	細事業一覧（令和7年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	広聴事業費		部局	企画振興部	課・室	広報・共創推進課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	集会広聴		168 千円	564 千円	196 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県政タウンミーティング	直接	知事が直接県民と対話し、地域事情や現場の声を施策に生かすために、集会形式またはオンライン形式で意見交換を実施		
			開催回数：8回		
2	政策対話	直接	各部局が直接県民と対話し、県が取り組む政策の課題・方向性について、集会形式で意見交換を実施		
			開催回数：52回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	個別広聴		2,505 千円	2,343 千円	2,695 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県政ティーミーティング	直接	知事が県庁または県内各地で、気軽な雰囲気県民のグループ（5 人程度）と県政に関して意見交換を実施		
			実施回数：2 回		
2	県政アンケート調査	委託	県政の課題に関する県民の意見や意識等を把握するため、民間調査会社への委託によるアンケート調査を実施		
			実施回数：年 4 回		
3	県民ホットライン	直接	県政に関する意見・要望・質問等を受け付け、担当部局から回答。回答は意見等とともに県HPに公表し、県の考え方を県民と共有		
			受付件数：718件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	その他の広聴		10,437 千円	7,746 千円	7,308 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県庁総合受付案内	委託	来庁者の対応（案内）、庁内放送、県庁見学等の業務を委託		
			案内件数：7,965件、放送件数：765件		
2	県政出前講座	直接	県の施策に関するテーマを設定し、県民の要望に応じ職員が直接地域に赴き、説明及び意見交換を実施		
			テーマ数：123テーマ、開催回数：175回、参加人数：7,472人		
3	県庁見学	委託 直接	県内の小学生等を対象とし、議場などの施設見学を実施		
			参加団体：205団体、参加人数：8,470人		